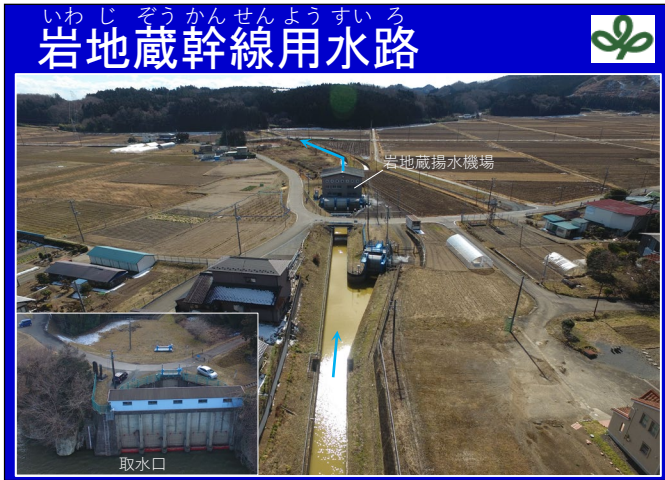


いわじぞうかんせんようすいろ 岩地蔵幹線用水路



岩地蔵幹線用水路概要

所在地：宮城県亶理郡亶理町，山元町
 河川名：一級河川阿武隈川
 支配面積：1,875.2ha
 規格：延長15,624m/幅4.3m/高さ2.3m
 着工/完成：昭和43年度/昭和59年度

「亶理用水」とも呼ばれる。岩地蔵が掘られた阿武隈川右岸岩盤付近を取水口とし、阿武隈川から得られた農業用水を、亶理町や山元町の農地へ約15.6kmに渡って送り届けている。

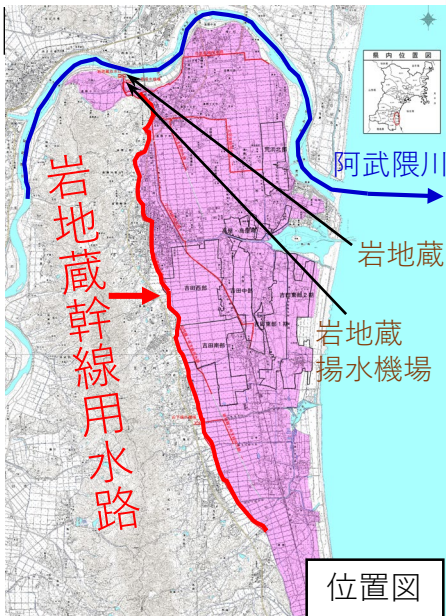
位置情報→



【岩地蔵の歴史】

岩地蔵は鎌倉時代から室町時代初めのものと思われます。阿武隈川に突き出た岩に彫られているため容易には近づけません。この場所は昔の要路であった東街道の渡し場「稲葉の渡し」で、左甚五郎が船を待つ間に彫り上げたという伝説が残されています。

亶理町，山元町の小学生を対象に亶理用水（岩地蔵幹線用水路）見学会を亶理土地改良区が主体となって毎年実施しています！



幹線用水路とは？
 頭首工や揚水機場などから取水した用水が最初に流れる水路で、ここから支線用水路、小用水路と分岐し農地へと用水が運ばれます。

